

2014年
3月15日

No.185

さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

原発のない社会へ 2014びわこ集会

原発なくせ!



東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から3年。「3・11」を目前にした9日、原発再稼働に突き進む安倍政権に「原発ゼロ」「再稼働ノー」を訴える大行動が、全国約160カ所以上で取り組まれました。

東京では首都圏反原発連絡会など3グループが共同して取り組んだ「原発ゼロ☆大統一行動」に、のべ3万2000人が参加。日比谷野外音楽堂、国会議事堂周辺で、終日「原発なくせ!」の音が響き渡りました。

100団体・1000人が集会・デモ

滋賀では、大津市の膳所公園で「原発のない社会へ 2014びわこ集会」が開かれました。原発に反対する住民団体の5氏が呼びかけたもので、政党や所属団体など政治的立場の違いを越えて「原発なくそう」の一点で運動を広げようと約100団体・1000人が参加。さざなみネットから4人が、滋賀銀行従業員組合の組合員や先輩とともに、金融労連の旗を掲げて参加しました。

会場は組合・団体旗が林立し、プラカードや寄せ書きなどでアピールする参加者も。開会のあいさつをした「いのちとびわ湖を放射能から守る輪」代表委員の畑明郎さんは、福島原発事故は今も続いているとして、「福井に隣接する滋賀にとって他人事ではない。原発のない社会を実現するため運動を広げよう」と呼びかけました。

集会では、「福井原発訴訟」弁護団長の井戸謙一弁護士が基調報告。県内避難者の会副代表の佐藤勝十志さんが事故や避難の様子を語り、「私たちのように将来に希望を持ってない人を、滋賀から出してほしくない」と訴えました。集会アピール(裏面に掲載)を採択後、参加者らは関西電力滋賀支店前を通り、パルコ前までパレード・デモ行進して県民にアピールしました。

良い天気にも恵まれ、膳所公園では18団体によるブース・マーケットが開設、賑わっていました。

報告や訴えを聞き、原発ゼロは他人事ではない緊急の課題だということがよくわかりました。大きな運動に広げ、何としても原発ゼロにと誓い合いました。



岩根 椿 岩波 美智子さん 画

忘れない フクシマ まもりたい いのちとびわ湖 原発のない社会へ 2014びわこ集会 アピール

福島第一原発事故から3年が経とうとしています。しかし、政府と東電は事故原因解明に向き合おうとせず、今なお事故を収束させることもできないでいます。

現在も、大気中に、海洋に汚染水として、放出され続ける放射性物質は地球規模で環境を汚染し、膨大な数の人たちの生命と健康を危険にさらし、故郷と安らかな生活を奪い、未来に希望を描けなくしています。

避難した人たちは経済的・精神的に疲弊し、汚染地に留まっている人たちは低線量被ばくの危険にさらされています。事故収束作業に従事する労働者は、劣悪な労働環境の中で、高線量の放射能にさらされ続けています。

この被害はどこまで、また、いつまで広がるのか全く予測できず、多くの人達が未来の見えない不安の中に置かれています。



野外ステージ前にて

しかし、それだけでは飽き足らず、今、政府は放射能汚染物質を、高レベル放射性廃棄物を全国に、原発を新たな危険と共に外国に押し付けようとしています。

安倍内閣は、原発を重要なベースロード電源として将来にわたって維持推進し、再稼働を進めるとした「エネルギー基本計画」を近く決定しようとしています。その中では「エネルギー教育」の名で子どもたちに原発推進教育まで押し付けようとしています。

こうした政府の姿勢を受けて、電力会社は再稼働に向け、10原発17基の審査請求を行い、現在審査中です。関西電力は、夏の電力が不足するという破たんした脅し文句で、夏までに大飯原発、高浜原発の再稼働を狙っています。これらの原発で重大事故が起これば、関西の命の水であるびわ湖の水が放射性物質で汚染されて飲めなくなることは、滋賀県のシミュレーションでも明白になっています。

こうした再稼働への暴走は国民世論に逆行するものであり、絶対に認められません。人びとの生命や生活より企業の金儲けを優先する政府・財界・電力会社の企みを許してはなりません。各種の新聞の世論調査でも8割を超える圧倒的多数が、原発をなくすことを求めています。将来の廃炉だけでなく、即時廃炉を求める声も大きく伸びています。国民世論を背景にした運動の広がりや、政府・財界・電力会社を追い詰めています。

2012年3月に始まった首相官邸前の毎週金曜日の抗議行動は、原発ゼロの熱い思いで継続しています。この動きは全国に広まり、滋賀県内各地で多くの仲間が呼応し、継続的な抗議要請行動に取り組んでいます。東日本大震災3年目のこの週末にも全国各地で集会が行われています。



デモ行進に出発

今日、ここに集う私たちは、福島原発事故を忘れることなく、被災地の人びとと共に、明るい未来が描けるような社会にしていくことを誓います。多くの人びとと手を取り合い、この運動をさらに発展させ、圧倒的多数の原発ゼロを求める国民世論によって原発推進勢力を包囲、孤立させましょう。そして原発の再稼働を許さず、放射能からびわ湖を守り、「原発のない社会」をつくりあげましょう。

大飯原発、高浜原発の再稼働反対。
すべての原発再稼働反対。新增設反対。
原発輸出をやめさせよう。
すべての原発を廃炉へ。

2014年3月9日

原発のない社会へ 2014びわこ集会 参加者一同